※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　地理歴史　　科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2　単位	年次	2　年次
使用教科書	歴史総合　わたしたちの歴史　日本から世界へ（山川出版社）						
副教材等	歴史総合　わたしたちの歴史　日本から世界へ　ノート（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書・ノートを使用し、一斉授業・グループ学習・レポート作成などの学習活動をおこなう。
グループ活動やレポート作成などを行うが、積極的に参加すること。

2　学習の到達目標

(1)世界とその中の日本を広く相互的な視野から近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを多面的・ 多角的に考察する力を養う。
(3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を 主体的に追究，解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野にいれて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	近代化と私たち	1. 18世紀の世界とアジア 2. 産業革命 3. アヘン戦争と日本 4. 日本の開国 5. 日本開国期の国際情勢 6. 開国後の日本社会 7. 市民革命と国民統合	a:18世紀の日本やアジア、ヨーロッパ、アメリカがどのように結びついていたか理解している。 b:近代の改革や革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:近代の改革や革命が国内外にもたらした様々な変化を見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
		8. 明治維新 9. 富国強兵と文明開化 10.日本の明治初期の外交 11.大日本帝国憲法の制定 12.日本の産業革命と日清戦争 13.帝国主義 14.日露戦争と韓国併合	a:明治政府の進めた富国強兵や外交政策、自由民権運動、産業革命、日露戦争について理解している。 b:資料や図版などから明治政府の政策や日清・日露戦争について、考察し表現できている。 c:明治政府の政策や日清・日露戦争について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
2	国際秩序の変化や大衆社会と私たち	1. 大衆運動の芽生え 2.第一次世界大戦 3.第一次世界大戦と日本 4.ロシア革命とその影響 5. 社会運動の広がり 6.国際協調 7.アジアの民族運動 8.大量生産・大量消費社会	a:第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯や、ヴェルサイユ条約により形成された国際秩序を理解している。 b:第一次世界大戦の総力戦体制や新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、表現できている。 c:大衆の戦争参加やヴェルサイユ体制の成立が、現代社会に与えた影響と課題について見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
		9. 世界恐慌 10.独裁勢力の台頭 11.日本のアジア侵出 12.第二次世界大戦 13.第二次世界大戦と日本 14.第二次世界大戦の終結 15.戦後国際秩序 16.冷戦の始まり 17.日本の戦後改革と日本国憲法 18.日本の独立	a:世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯や国連を中心とする新たな国際秩序について理解している。 b:国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたかについて考察し、表現できている。 c:世界恐慌後の各国の政治判断や、国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
3	グローバル化と私たち	1. 第三世界の登場 2. 冷戦の固定化と「雪どけ」 3.冷戦の展開 4.55年体制と安保闘争 5.高度経済成長の光と影 6.ベトナム戦争とアメリカ 7.経済構造の変化 8.日本の経済大国化	a.1960年代から1980年代における経済成長や冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解している。 b:資料や図版などから、冷戦終結や日本が経済大国化する過程を考察し、表現できている。 c:冷戦の展開と世界各地の動向について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み
		9. アジアの経済成長 10.社会主義の停滞と新自由主義 11.冷戦の終結 12.冷戦後の地域紛争 13.地域統合 14.現代世界の諸課題 15.日本の諸課題	a:経済格差、エネルギー問題も人口減少などの課題に対して、どのように対応していけばよいか理解している。 b:資料や図版などから地域紛争やテロ、自然災害について今後どのように対応していけばよいかを多角的に考察している。 c:現代社会の諸課題の解決に向けて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 ワークプリント	定期考査 ワークプリント レポート 授業への取り組み	ワークプリント レポート 授業への取り組み

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度